

「ガリラヤに行くように言いなさい。そこでわたしに会えるのです。」マタイ 28 : 10

イエス様の弟子たちはイエス様と寝食を共にし、イエス様から神の国のことを学び実践訓練を受け愛し慕っていたにもかかわらず、イエス様が捕らえられる時「イエスを見捨てて、逃げてしまった。」(マタイ 26 : 56)人間は神のみ前に立てない罪びとです。しかし神はどこまでも人間にあわれみと赦し、恵みと愛を注がれます。(詩篇 103 : 8)「主は、あわれみ深く、情け深い。怒るのにおそく、恵み豊かである。»)罪を悔い改め十字架を見上げる“信仰”と“祈り”によって神との関係を保っています。十字架のみが神と人間を結びつける鍵です。神は 10「私たちの罪にしたがって私たちを扱うことをせず、私たちの咎にしたがって私たちに報いることもない。」12「東が西から遠く離れているように、私たちのそむきの罪を私たちから遠く離される。」悔い改める者には罪を犯したことの無い者に与えられる祝福と恵みがあるのです！！

最近祈って聞かれたことは沢山あるのではないのでしょうか！？2b「主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」祈りは聞かれ、神様の不思議なみわざが起こされてゆきます。11「天が地上はるかに高いように、み恵みは、主を恐れる者の上に大きい。」恐れると言うのは、神のことは信じ敬うことです。

復活されたイエス様はエルサレムで弟子たちに現れたのですが、ガリラヤに行き、そこで会うように指示されました。イエス様はどんなに弟子たちを愛して神の国のことを語り彼らを信仰者として育てようとしたことでしょうか。しかし、彼らは簡単にイエスを裏切ってしまいました。(イエス様はそのことをご存知でしたが)そして召しを受けたその場所に弟子たちを戻して「わたしを愛しますか？」と再度“召し”を導きました。彼らが裏切ったことを責める事なく！

これから、確実に患難時代がやってきて、反キリスト・偽キリストが私たちの信仰を奪い惑わします。今までの信仰では通用しなくなる時代がやってきます。弟子たちは自分たちの力のなさをイヤと言うほど知らされ、確かに十字架を見上げずにはいられない罪を認め、自分の力ではなく、約束の聖霊の力を受けて使命を全うしてゆきました。私達も後の雨である聖霊に満たされて喜びつつ、主のために命をも惜しまずに伝道し続けた弟子たちや多くの聖徒に続く者となれますように！

「だれでも私に従うものは、自分を捨て、日々自分の十字架を負いそしてわたしについてきなさい。」「神がご自分に従う者たちにお与えになった聖霊もそのことの証人です。」

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **Firstborn** who are **Registered in Heaven**

主任牧師:イエス・キリスト

ダニエル&シオン



Siloam

2016年10月23日 No.916

(シロアム：遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

新年度の御言葉

ルカの福音書 3:2~4

「神のことが、荒野でザカリヤの子ヨハネに下った。」 2 節

「主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。」 4 節



ガリラヤ湖&エルサレム

主の十字架クリスチャンセンター The **Lord's Cross Christian Center**

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>